

# 平成29年度 小学校・中学校・高等学校の先生との 福祉教育に関する懇談会を開催しました。

## ～「ともに生きる」を考える あさおのふくし～

麻生区社会福祉協議会では、麻生区ボランティア活動振興センター運営委員会の小委員会として「福祉教育推進委員会」を設置しており、学校関係者・PTA・福祉施設・当事者団体・ボランティアグループなど地域の様々な立場の方で委員会を構成し、地域全体での福祉教育の取り組みについて検討しています。

この懇談会は、麻生区内の福祉教育を推進するため、小学校・中学校・高等学校の先生方と福祉施設・当事者団体・ボランティアグループなどの代表者として懇談する機会を持つことにより、児童・生徒への福祉教育の意義について理解を深めるとともに、福祉教育を推進する上での課題を明らかにし、課題解決のために必要とされる方策について検討することを目的に平成19年度から開催しており、今年で11年目を迎えました。

### 「小学校・中学校・高等学校の先生との福祉教育に関する懇談会」

日時 平成29年7月27日（木）午後1時30分～4時15分まで

会場 麻生区役所 4階 第1会議室

参加者	麻生区内小学校・中学校・高等学校の先生	13名
	ボランティア活動振興センター運営委員会委員	5名
	柿生地区・麻生東地区社会福祉協議会関係者	5名
	麻生区社会福祉協議会各部会員等※	25名
	福祉教育推進委員会委員	7名

合計55名



※今年度も、麻生区社会福祉協議会の各事業の連携強化のため、また、より広く様々な立場からのご意見をいただくため、在宅福祉サービス部会、子育て支援部会、広報啓発部会の三つの部会にも開催案内し、昨年度の2倍を超える25名の方にご参加いただきました。

第1部では、田園調布学園大学の鈴木文治教授に「福祉教育とインクルーシブ教育」をテーマに「誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会」である「共生社会」の実現に向けた福祉教育の意義などについてお話いただきました。



第2部では、学校等で行なわれている福祉教育において、本会を通じて講師をお願いしている当事者団体・福祉施設・ボランティアグループの方から、実際にどのような講義を行っているかなどを紹介いたしました。

- 車いす体験、高齢者疑似体験など福祉の体験授業について

相澤 美津子 氏（ささえあい麻生）

- 聴覚障害者の講義について

森 都 氏（麻生区聴覚障害者協会）

- 視覚障害者の講義について

武村 桂子 氏（朗読ボランティアグループさんざし）

- 福祉施設の受け入れについて

住舎 泰子 氏（障害福祉サービス事業施設 しらかし園）

- 認知症について

後藤 淳一 氏（介護老人福祉施設 よみうりランド花ハウス 地域貢献係）



第3部は参加者による懇談会形式での意見交換です。「共生社会の実現に向けた福祉教育の役割」をテーマに懇談しました。参加した先生からは、「地域の方々やボランティア団体の思いや考えを知ることができた」「身近で自分の周りにはいる様々な人と一緒に生活していくという視点をもって学習したい」などの感想がありました。また



地域の方からは、「学校と地域でお互いにあいさつすることから始めたい」「様々な人と関わる事が偏見や差別意識をなくす一番の方法ではないか」などの提案がありました。

これからも福祉教育推進委員会では、共生社会の実現に向けて、福祉教育の推進に力を入れて取り組んでいきます。